

カンムリカイツブリを保護

またしても野鳥が保護されました。

1月28日神岡支所から連絡が入った。近くの工場からの通報で、カラスにいたずらされ飛べない鳥がいるので、カラスを追いついて段ボール箱に入れている。見たことがない野鳥だと言っている。

直ぐ工場に駆けつけると、段ボール箱の中に野鳥が入っていた。そっと中を覗くとバタバタと動き、長いクチバシで威嚇するではないか。見た目はどこも怪我をしている様子はありません。カンムリカイツブリであった。



カンムリカイツブリを入れた段ボール箱。

成鳥と思われるが、どうしてここに飛んできたのだろう。カンムリカイツブリは冬鳥であるが、積雪期は河口や海岸、大きな湖沼で越冬します。昨年、近くの大浦沼でカンムリカイツブリの繁殖が初めて確認されているが、同じ個体かどうか分かりません。

秋田県鳥獣保護センターに連絡したところ、駆けつけてくれました。保護された現状をつぶさに報告し持ち帰ってもらった。



箱をそっと開けた。



見た目はどこも怪我はありません。

数日後、保護センターに電話を入れ、カンムリカイツブリのその後を訪ねたところ「敷地内の沼に放していたが、今は姿が見えないので飛び立っていったようだ。多分、元気になって自然に帰って行ったのでしょう。」

これでカンムリカイツブリ騒動は無事終了となりました。



少し近づいたら突かれた。



昨年、大浦沼で初めて子育てしたカンムリカイツブリ。左が親鳥。